



自民党・無所属 大阪府議団だより

令和2年 9月定例府議会 一般質問

新型コロナウイルスの抗体検査や行政手続きにおける「押印」について、国道423号の安全対策などを質問しました。

原田こうじ 議員

Profile 池田市選出

昭和55年9月5日生まれ／大教大附属池田小学校／大教大附属池田中学校／関西大倉高校／甲南大学法学部卒業／(株)NEXYZ勤務を経て、衆議院議員 原田けんじ 秘書／平成31年4月より府議会議員(二期目)現在 健康福祉常任委員会副委員長、関西広域連合議会議員

スマートシティ推進

行政手続きにおける押印について

行政手続きに必要なハンコ…府の簡素化は？

Q. 原田議員 国においても河野太郎行革担当大臣のもと、押印原則の廃止など行政手続きの見直しが加速しているが、真に必要なものには引続きハンコ文化を尊重したいとも思っている。今後、府は府民の利便性の向上のために、どのように行政手続きを簡素化していくのか。

A. スマートシティ戦略部長

いわゆるハンコレスについては大阪スマートシティ戦略にも位置付け、各部局に押印見直しの考え方を提示し、廃止した場合の課題等を調査。今年度は「認印」が必要な手続きのうち法令上の制約等のないものから、簡素化の観点もふまえ、順次見直しをと考えております。



新型コロナウイルスの抗体検査

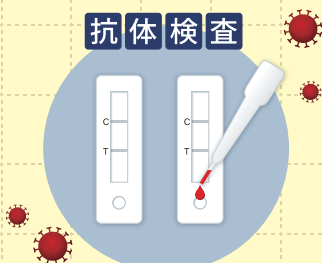
新型コロナウイルスの2回目の抗体検査について

第2波が終息する時期に改めて府民の抗体検査を実施すべき。知事の見解は？

Q. 原田議員 今年6月の新型コロナウイルスの抗体検査で大阪府民の抗体保有率は0.17%と低く、市中感染が広がっていなかったことが明らかになったが、大阪府における市中感染の状況を把握するため、第2波が終息する時期に改めて府民の抗体検査を実施すべきと考えるがどうか。

A. 知事

現在、国において第2回の大規模抗体検査の実施に向け、実施事業者の選定を進めており、府としても国が実施する調査と連携して、府内での第2回の抗体検査が実施できるよう、時期や方法等を含めて国と調整してまいります。



宅配事業者に対する交通安全対策

危険運転も…自転車を利用した宅配事業者に対する交通安全対策について

Q. 原田議員 自転車での宅配事業者(フードデリバリー)の需要が高まる中、先日、大阪市内で社名入の大きなリュックを背負った配達員がスマホを見ながら猛スピードで走り去るのを見かけた。交通事故に直結する危険な行為だが、このようなスマホを見ながらの自転車運転についてどのように認識しているのか。

A. 警察本部長 自転車でのながら運転について、道路交通法等では携帯電話を手で保持して通話したり画像を注視しながら運転してはならないとされており、これらの行為については違反行為に対する指導取締りを実施、宅配事業者とも連携しながら交通ルールの周知・啓発に努めてまいります。

国道423号の安全対策

伏尾地区の危険な箇所の安全対策は急務！現状の取り組みは？

Q. 原田議員 国道423号は溪谷を縫って進む上に道路が狭く、大型車の対向もままならない。伏尾地区では極めて危険な箇所がそのままとなっており、その解消のための伏尾バイパスの事業は休止中であるため、早急に伏尾地区への安全対策を講じるべき。現在の取り組み状況はどうか。

A. 都市整備部長 伏尾地区の現道を拡幅する案や余野川の対岸に道路を新たに整備する案など複数を検討中で、工事期間中の交通規制による渋滞等の影響や対策費用等、様々な観点から比較検討を進めており、関係者と調整を図りながら安全対策に取り組んでまいります。

道路斜面崩落の兆候をいち早く把握することが重要

Q. 原田議員 IoT等により遠隔監視することで道路通行の安全性がより向上するのではないのでしょうか。このような遠隔で監視できるシステムを導入し、道路交通の安全性を向上させるべきと考えますが、都市整備部長のご所見をお伺いします。

A. 都市整備部長 道路斜面の変状のみならず、道路面の凍結や積雪等の道路の状況を把握することも重要であり、IoT等の進歩に応じた導入が必要。このため、まずは、広域緊急交通路等でのり面対策が必要な箇所における、斜面計測機に加え、気温等の計測センサー、ライブカメラなどの装置を試行的に設置し、それぞれの有効性・費用対効果などを検証していく予定。引き続き、こうした取組みを通じ、IoT等の新技術を活用した道路利用者の安全性確保に努めてまいります。